

令和 2 年度  
事業概要

市民局



# 目 次

ページ

I 令和2年度 市民局運営方針	3
II 令和2年度 市民局予算について	5
III 主な事業・取組	6
IV 令和2年度 市民局予算 総括表	13
V 事業別内訳	
【3款1項 市民行政費】	
1 市民総務費 (3款1項1目)	14
2 人権施策推進費 (3款1項2目)	15
3 広報広聴費 (3款1項3目)	16
4 市民協働推進費 (3款1項4目)	18
5 スポーツ振興費 (3款1項5目)	21
【3款2項 地域行政費】	
1 個性ある区づくり推進費 (3款2項1目)	24
2 戸籍住民登録費 (3款2項2目)	25
3 地域施設費 (3款2項3目)	26
VI 参考資料	
令和2年度 自主企画事業費 区別一覧	29



# I 令和2年度（2020年度） 市民局運営方針

## 基本目標

“すべては市民の元気のために”  
つなぐ つくる まもる

## 目標達成に向けた施策

### 1 協働による地域づくりの推進、安心して暮らせるまち

地域の絆や支え合いが深まり、いきいきとした地域コミュニティが形成され、地域が主体的に課題解決に取り組めるよう、市民協働の推進、地域活動への支援を行うとともに、区役所の地域支援機能の強化を図ります。

新市庁舎1階に開設する市民協働推進センターでは、地域で活動する市民の方々や団体、企業、学校、NPO法人等の多様な主体が連携、交流し、協働による地域課題の解決に取り組みます。

また、市民の安全・安心な暮らしが実現できるよう、地域や区役所、警察署、防犯団体等と連携し、地域防犯力の向上に向けた取組を推進します。

さらに、新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策の一環として、家計への支援を目的とした特別定額給付金の支給を迅速に実施します。

### 2 スポーツで育む地域と暮らし

「横浜市スポーツ推進計画」に基づき、年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、(公財)横浜市スポーツ協会などの関係団体と連携しながら、市民にスポーツに親しむ機会(する、みる、ささえる)を提供します。また、横浜文化体育館の再整備を着実に進めるとともに、開催が延期となった「東京 2020 大会」等についても、安全で円滑な開催に向けた準備を進め、スポーツを通じた市民の暮らしの充実やまちの活性化を図り、スポーツ都市横浜の実現を目指します。

### 3 市民利用施設の整備・運営と市民サービスの充実

市民が安全に安心して利用できる市民利用施設の整備を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館している施設について、利用再開後に、誰もが安心して快適に使えるよう、施設の利用環境整備を徹底し、サービス向上策を含め、それぞれの施設の魅力を高める取組を推進します。

市民サービスの充実については、魅力ある窓口づくりを推進するため、区役所と連携し、お客様満足度の向上に努めます。また、マイナンバーカードの新規取得や電子証明書の更新の増加に対応するため、窓口の拡充を行います。さらにマイナンバーカードの出張申請受付を行うなど、様々な手段を工夫し取り組みます。

### 4 人権を尊重した市政運営

「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現を目指し、人権に関する施策の総合的な企画・調整を行うとともに、市民・事業者・団体等に向けた啓発、職員研修などを推進し、様々な人権課題の解決に取り組みます。

「横浜市犯罪被害者等支援条例」に基づき、犯罪被害者等への相談・支援や市民の皆様への啓発に取り組むとともに、警察署や弁護士会など関係機関と一層の連携強化を図り、途切れない支援の実施を推進します。また、差別や偏見の中で孤立しがちな性的少数者等の方々への支援及び市民・事業者の方々への理解拡大、パートナーシップ宣誓制度の運用に取り組みます。

### 5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

これまでの「広報よこはま」やテレビ・ラジオ、市ウェブサイト、ツイッター等に、新たにLINE(ライン)を加え、各広報媒体を相互に連携させながら効果的に活用し、市政情報や緊急情報を正確・確実に分かりやすく伝えるとともに、横浜の魅力を市内外へ発信します。

様々な広聴事業を通して市民ニーズを把握することにより、市民サービスの向上や施策反映につなげます。また、新たにAIを活用したチャットボットの導入を進めます。

適正で円滑な情報公開を推進します。また、個人情報への安全確保の取組を推進するとともに、個人情報を含むデータの利活用に向けた市内の取組が適正、円滑に行われるよう支援します。

### 共感と協働を大切にした施策・事業の推進

市民の皆様に寄り添い、人権尊重の考え方に立ち、共感と信頼を大切に、施策・事業を推進していきます。

多様な主体が連携して身近な課題に取り組む「協働による地域づくり」を区役所とともに進めます。また、区の地域支援体制をサポートする局間連携推進体制を構築し、協働による地域課題の解決を支援するとともに、民間の提案やアイデアを積極的に引き出し、市の施策・事業に生かしていきます。

### 現場主義の実践と 18 区役所への支援

市民生活が営まれる「地域」が現場であると認識し、その現場を自ら見て、声を聞くことで共感と信頼を積み重ねながら、地域の声が市政に反映されるよう取り組みます。また、予算・制度面での区局連携を一層進め、「地域の総合行政機関」「地域協働の総合支援拠点」である区役所が力をより発揮できるよう支援していきます。

### リスクマネジメントの推進

コンプライアンス上のリスクについて、上司・部下・同僚等の職員間の定期的なコミュニケーションを通して、リスクに対する認識を共有しながら、他区局で発生した不祥事も、他人事ではなく自分事として捉え、マネジメントを行います。管理責任を問われる可能性の高いリスクを見極め、常に優先順を意識しながら取り組みます。

### 働き方改革の推進

新市庁舎への移転を絶好の機会と認識し、ICT 環境を最大限活用し、ペーパーレスの推進や会議の効率化を抜本的に見直します。超過勤務縮減については、事務事業の進捗状況を課内・係内で共有し、事前命令の徹底と退勤時刻の確認を行い、職員が心身ともに健康で働き続けられる環境づくりを推進します。

### 人材育成の推進と職場づくり

職員一人ひとりが、互いに尊重し高め合うことによって、チーム横浜の一員として、意欲と能力を最大限に発揮できる職場風土を醸成することで、成長を実感できる人材育成と職場づくりを推進します。また、全市的な女性管理職の登用目標(課長級以上30%)について、局内女性職員の係長昇任試験受験率向上と個別キャリアプランの作成に取り組みます。

## Ⅱ 令和2年度 市民局予算について

### 予算規模

2年度の市民局予算は516億6,227万円、対前年度比66億9,756万円、14.9%の増と  
なっています。

区分	令和2年度	令和元年度	増減
一般会計	516億6,227万円	449億6,471万円	66億9,756万円（14.9%増）

※1万円未満は切り捨てとしているため、差引等が一致しない場合があります。

### 予算編成の考え方

2年度の市民局予算は、厳しい財政状況の中、市政運営の基本的な考え方を踏まえ、  
局運営方針の基本目標「“すべては市民の元気のために” つなぐ つくる まもる」を実現  
するため、以下の5つの柱を意識しながら予算編成を行いました。

- 1 協働による地域づくりの推進、安心して暮らせるまち
- 2 スポーツで育む地域と暮らし
- 3 市民利用施設の整備・運営と市民サービスの充実
- 4 人権を尊重した市政運営
- 5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

2年度予算では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が1年延期  
となったことを踏まえ、大会組織委員会をはじめとした関係機関と連携しながら、都市ボ  
ランティアの準備など、より安全で円滑な大会運営に向けて取り組みます。

また、港南公会堂、港南土木事務所の再整備を進め、3年春の開所を目指します。

### Ⅲ 主な事業・取組

#### 1 協働による地域づくりの推進、安心して暮らせるまち

177 億 137 万円 (前年度 176 億 1,695 万円)

**(1) 元気な地域づくり推進事業** 6,412 万円 (前年度 7,990 万円) P. 18

自治会町内会をはじめとする様々な主体が連携し、防災や高齢者の見守りなどの課題解決に取り組む地域を全区で広げていくため、区とともに地域の取組を支援します。

また、活動の担い手不足に対応するため、地域人材の発掘・育成に全区で取り組みます。

**(2) 自治会町内会館整備助成事業** 1 億 4,687 万円 (前年度 1 億 5,730 万円) P. 18

自治会町内会館の建替え・改修等の要望に応えるため、地域活動及び共助による減災の拠点となる自治会町内会館の整備を支援します。

また、風水害等の自然災害による緊急修繕に対応します。

**(3) 市民協働の推進** 1 億 4,120 万円 (前年度 1 億 8,393 万円) P. 19

「絆・支え合い条例」、「市民協働条例」の趣旨を踏まえ、協働事業の市民提案を促進する取組やNPO法人の活動支援等を行うほか、協働による地域課題の解決に向けた相談のワンストップ窓口として、新たに市民協働推進センターを開設・運営します。

また、「よこはま夢ファンド」による資金的な支援、NPO法人の設立や認定等の取得を支援します。

**(4) 地域で取り組む防犯活動への支援** 4,964 万円 (前年度 4,799 万円) P. 20

地域で協力して取り組む防犯活動への支援と、神奈川県警察等の関係団体との連携による特殊詐欺の注意喚起や子どもの安全対策、落書き防止対策などを推進します。

また、自治会町内会等に対し、防犯カメラ設置費用の一部を補助します。

**(5) 防犯灯の設置・維持管理** 5 億 8,819 万円 (前年度 5 億 8,819 万円) P. 20

横浜市が所有するLED防犯灯について、老朽化した防犯灯の建替えや新設、電気料金やESCOサービス料等の維持管理費の支出を行います。



(6) 区役所機能の充実・強化

ア 個性ある区づくり推進費 155 億 3,684 万円（前年度 153 億 8,336 万円）  
（うち自主企画事業費 18 億 4,271 万円（前年度 18 億 5,694 万円）） P. 24

18 区役所で地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応しながら、個性ある区づくりを進めます。

イ 区の実情に応じた区役所支援＜取組＞

区役所が「地域の総合行政機関」「地域協働の総合支援拠点」としての役割を十分に発揮できるよう、関係部署との総合調整や区の実情に応じた支援を行います。

**特別定額給付金の支給**

新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策の一環として、家計への支援を目的とした特別定額給付金の支給を迅速に実施します。

※5月補正予算で可決。（全額国費で実施）詳細については別紙参照。

**(1) 地域スポーツ活動の支援** 3,573万円（前年度3,437万円） P. 21

年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが身近な場所でスポーツに親しめる環境づくりを推進するとともに、スポーツ推進委員や地域スポーツ関係団体等と連携し、地域スポーツの振興に努めます。

また、障害者と健常者がともに楽しめるインクルーシブスポーツを推進します。

**(2) 市民参加型スポーツイベントの充実** 1,178万円（前年度1,333万円） P. 22

「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル」等の多様な市民参加型イベントを充実させることにより、スポーツに親しむ機会を提供します。

**(3) ラグビーワールドカップレガシー事業** 2,800万円（前年度0万円） P. 21

ラグビーワールドカップ2019<sup>™</sup>の開催を契機としたさらなるスポーツ振興に向けて、子どもたちへのラグビーの普及や、女子ラグビーの推進、トップレベルの試合の誘致等を行います。

また、子どもたちが芝生でラグビーの練習ができる場等を含め、様々な球技について調査を実施する等、市民スポーツの「する」「みる」「ささえる」を推し進めます。

**(4) 横浜マラソン開催事業** 1億円（前年度1億円） P. 22

第6回大会（2年11月1日）の開催及び第7回大会の開催準備のため、必要経費の一部を負担します。

※第6回大会は、横浜マラソン組織委員会において中止を決定いたしました。

**(5) 観戦型スポーツイベント等開催事業** 7,080万円（前年度7,601万円） P. 22

2年度で11回目となる「ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会」の開催は中止となりましたが、今後の状況に応じてイベント等の開催を検討します。

**(6) トップスポーツチーム連携事業** 450万円（前年度450万円） P. 22

プロスポーツチームをはじめとした、横浜を本拠地とするトップスポーツチームとの連携事業を展開することにより、スポーツ振興や地域活性化を図ります。

**(7) 横浜市スポーツボランティアセンター運営事業**

520万円（前年度650万円） P. 21

市民がボランティアを通じてスポーツイベントに関われるよう、スポーツボランティアの登録を行い、市内で開催されるスポーツイベントのボランティア情報を提供します。これにより主催者とボランティアのつながりを支援します。

**(8) 学校施設への夜間照明設置事業** 700万円（前年度0円） P. 21

市内小中学校の校庭に夜間照明を設置し、夜間の校庭を開放することで、スポーツをする場を拡充し、地域でスポーツを気軽に親しむ機会を創出します。

**(9) 屋外プール再整備事業** 1億3,015万円（前年度4億8,830万円） P. 22

本牧市民プールについて、令和元年度に引き続き既存施設の解体工事を実施します。また、再整備を進めるため、事業者の公募を実施します。

**(10) 横浜文化体育館再整備事業** 12億2,436万円（前年度2億3,171万円） P. 22

関内駅周辺地区のまちづくりにおける核施設の一つである横浜文化体育館の再整備を進めます。サブアリーナ施設（横浜武道館）が2年7月に供用開始するため、PFI事業費の支払いを開始します。

また、併設される民間病院の建設予定地である旧横浜総合高校敷地内の旧河川護岸解体工事を行うとともに、現横浜文化体育館の解体工事を2年11月より行います。

**(11) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催推進事業**

12億4,185万円（前年度3億6,308万円） P. 23

新型コロナウイルスの影響で大会の開催が1年延期となったことを踏まえ、大会組織委員会をはじめとした関係機関と連携しながら、都市ボランティアの準備など、より安全で円滑な大会運営に向けて取り組みます。また、大会に向けた機運醸成や英国等の事前キャンプ受入れに向けた調整・準備、ホストタウンの取組などを引き続き行います。

さらにより一層のスポーツ振興を図るため、オリンピック・パラリンピアンと連携した学校訪問等を実施していきます。

### 3 市民利用施設の整備・運営と市民サービスの充実

142億832万円（前年度 83億3,644万円）

#### (1) 区庁舎等の再整備・耐震性強化

72億2,438万円（前年度 44億2,748万円） P. 26

##### ア 区庁舎等再整備・維持管理

港南公会堂・港南土木事務所の再整備を行います。

また、戸塚区、瀬谷区のPFI事業費の支払いを行います。

##### イ 特定天井脱落対策

大規模空間を有する既存建築物の天井の脱落対策を行います。（30施設）

- ・スポーツセンター【基本設計】鶴見・中  
【実施設計】青葉・栄  
【工事】港南・保土ケ谷
- ・地区センター（体育室）  
【基本設計】潮田（鶴見区）、篠原（港北区）  
【実施設計】矢向（鶴見区）、白幡（神奈川区）、北山田（都筑区）、  
上郷（栄区）、竹之丸（中区）、  
大場みすずが丘（青葉区）  
【工事】寺尾（鶴見区）、本牧（中区）、中村（南区）、  
若葉台（旭区）、奈良（青葉区）、下和泉（泉区）
- ・プール【工事】横浜国際（都筑区）
- ・区庁舎（1階エントランスホール）  
【工事】青葉
- ・公会堂（講堂等）【調査・基本設計】鶴見、西、瀬谷  
【実施設計】青葉、栄  
【工事】磯子、港北
- ・体育館【基本設計】たきがしら会館（磯子区）

##### ウ スポーツセンター、地区センターの体育室空調機設置

体育室に空調機を設置していないスポーツセンター及び地区センターに空調機を順次設置します。（12施設）

- ・スポーツセンター【基本設計】鶴見・中  
【実施設計】磯子・港北・青葉・栄  
【工事】港南・保土ケ谷
- ・地区センター【工事】寺尾（鶴見区）、本牧（中区）、若葉台（旭区）、  
綱島（港北区）

**(2) 地区センター等の整備** 8,790万円（前年度2,751万円） P. 27

未整備又は再整備が必要な地区センター、コミュニティハウスの整備を進めます。

（5施設）

- ・地区センター 【工事】 都田（仮称）（都筑区）
- ・コミュニティハウス 【基本・実施設計】 丸山台（仮称）（港南区）  
上菅田笹の丘（仮称）（保土ケ谷区）  
勝田小（仮称）（都筑区）
- 【既存施設解体工事・新設設計】 西柴（仮称）（金沢区）

**(3) 社会保障・税番号制度対応事業**

48億5,061万円（前年度12億7,464万円） P. 25

区役所戸籍課において、マイナンバーカードの交付やカードに記録された電子証明書の有効期限満了に伴う更新を行います。国のマイナンバーカードの普及と利活用に関する方針に基づき、カード交付窓口の拡充等に取り組みます。

**(4) 魅力ある窓口づくり推進事業**

382万円（前年度382万円） P. 25

区役所窓口のお客様満足度の向上に向けて、区と連携した窓口サービス向上研修や窓口サービス満足度調査などに取り組みます。

**4 人権を尊重した市政運営**

5,263万円（前年度5,326万円）

**(1) 人権施策推進事業**

2,669万円（前年度2,676万円） P. 15

「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現を目指して、人権に関する施策を総合的に企画・調整するとともに、市民、事業者、団体等全ての人々に向けた啓発・研修を推進します。

**(2) 犯罪被害者等支援事業**

1,496万円（前年度1,900万円） P. 15

「横浜市犯罪被害者等支援条例」に基づき、犯罪被害者相談室での相談や、職員研修、市民等への普及啓発を行うとともに、犯罪被害者等支援の拡充、支援体制の整備・強化、市民等の理解・協力の拡大に取り組みます。

**(3) 性的少数者等支援事業**

750万円（前年度750万円） P. 15

性的少数者の方々が安心して暮らせる社会を目指して、差別や偏見の中で孤立しがちな当事者の方等への支援を行うとともに、職員研修や市民向け講演会等を行います。また、パートナーシップ宣誓制度の運用に円滑かつ適切に取り組みます。

**(4) 人権に関する市民意識調査事業**

346万円（前年度0万円） P. 15

市民の皆様の人権に関する意識を把握し、人権啓発事業をはじめ人権に関する様々な取組をより効果的に推進していくために、5年に1度実施している「人権に関する市民意識調査」を実施します。調査結果については、横浜市人権施策基本指針の次期改訂に反映させるなど、人権施策の推進に生かします。

## 5 市内外への効果的な情報発信と市民の声の市政への反映推進

11億3,318万円（前年度11億7,663万円）

### (1) 「広報よこはま」発行事業 3億3,712万円（前年度3億2,515万円） P. 16

市の基幹的な広報媒体として、毎月1日、「広報よこはま」市版を発行し、市の施策や事業について市民にお知らせします。

### (2) インターネット広報事業 4,541万円（前年度1億7,494万円） P. 16

市ウェブサイト을安定稼働させるとともに、適時・的確な情報発信を行います。また、リニューアル後に実施した効果検証結果を踏まえ、利便性の向上に取り組みます。

### (3) 広聴事業 216万円（前年度257万円） P. 17

「市民からの提案」、「市長の集会広聴」や、「ヨコハマeアンケート」など各種広聴を通じて市民の皆様の声を幅広く受け止め、市民サービスの向上や施策反映につなげます。

### (4) 市民相談事業 4,478万円（前年度4,781万円） P. 17

市政相談をはじめ、専門相談員による法律相談、司法書士相談、交通事故相談、公証相談及び宅地建物相談等を実施します。また、市民向けに法律知識の普及を図るため、市民法律講座を実施します。

### (5) 横浜市コールセンター事業 2億9,756万円（前年度2億3,495万円） P. 17

市役所や区役所の各種手続、イベント、施設等の市政情報や生活情報など様々な問合せに、8時から21時まで年中無休で対応するとともに、区役所代表電話及び新たに市庁舎代表電話の交換業務を行います。受付時間外には、災害情報が市内に出されている場合に自動音声でお知らせします。

### (6) 情報公開制度の適正・円滑な運用 772万円（前年度762万円） P. 14

正確で分かりやすい情報を積極的に提供し、市民の市政参加をさらに進めるため、職員研修や所管課との協議を通じて情報公開制度の理解が深まるよう、取組を推進します。

また、情報公開・個人情報保護審査会では、不服申立案件を迅速・適正に処理します。

### (7) 個人情報保護施策の推進 425万円（前年度407万円） P. 14

個人情報保護審議会及び第三者評価委員会の適正な運営を行うとともに、研修や自主点検等を通じて本市における個人情報の適正な取扱いを推進します。

また、市民・事業者等が制度を正しく理解し、保護と利用のバランスに留意した個人情報の取扱いができるよう、情報提供を行います。

## IV 令和2年度 市民局予算 総括表

(単位：千円)

款 項 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	差引増△減	前年比 %	増減の主な理由
<b>3 款 市民費</b>	<b>51,662,275</b>	<b>44,964,712</b>	<b>6,697,563</b>	<b>14.9</b>	
1 項 市民行政費	22,851,509	22,222,787	628,722	2.8	
1 目 市民総務費	13,242,676	13,358,171	△ 115,495	△ 0.9	職員人件費の減 △131,395千円
2 目 人権施策推進費	52,630	53,260	△ 630	△ 1.2	犯罪被害者等支援事業費の減 △4,034千円 人権に関する市民意識調査事業費の増 3,466千円
3 目 広報広聴費	1,075,464	1,134,816	△ 59,352	△ 5.2	インターネット広報事業費の減 △129,523千円
4 目 市民協働推進費	2,164,535	2,233,592	△ 69,057	△ 3.1	市民活動支援センター事業終了に伴う減 △40,196千円
5 目 スポーツ振興費	6,316,204	5,442,948	873,256	16.0	横浜文化体育館再整備事業費の増 992,657千円
2 項 地域行政費	28,810,766	22,741,925	6,068,841	26.7	
1 目 個性ある区づくり 推進費	15,536,843	15,383,359	153,484	1.0	区庁舎・区民利用施設管理費の増 109,529千円
2 目 戸籍住民登録費	6,275,999	2,697,054	3,578,945	132.7	社会保障・税番号制度対応事業費の増 3,575,970千円
3 目 地域施設費	6,997,924	4,661,512	2,336,412	50.1	港南区総合庁舎整備事業費の増 2,272,123千円

## V 事業別内訳

3款1項1目	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳			
				国・県	市債	その他	一般財源
市民総務費	千円 13,242,676	千円 13,358,171	千円 △115,495	千円 0	千円 0	千円 2,019	千円 13,240,657

市政に関する情報公開の推進及び本市が取り扱う個人情報の保護、職員人件費等庶務的経費等に要する経費です。

### (1) 情報公開推進等事業 7,727千円 (前年度7,620千円)

ア 情報公開請求に対する行政文書の開示を行う情報公開請求制度を円滑、適正に運用するとともに、市政に関する情報の公表・提供や附属機関の会議の公開などを進め、総合的な情報公開を推進します。

イ 個人情報保護の趣旨を踏まえ、個人情報の開示、訂正、利用停止を行う個人情報本人開示等請求制度を運用します。

ウ 行政文書の開示請求や個人情報の本人開示請求等に対する決定についての不服申立てに係る諮問を審議する「横浜市情報公開・個人情報保護審査会」を運営します。

(横浜市の保有する情報の公開に関する条例、横浜市個人情報の保護に関する条例)

### (2) 市民情報センター運営事業 14,358千円 (前年度13,243千円)

本市の情報公開の総合窓口として、市政に関する情報を広く提供するとともに、情報公開制度の説明や行政文書の開示請求及び個人情報の本人開示請求の受付、開示の実施等を行う市民情報センターを運営します。また、市政に関する総合的な情報提供の一環として、市民情報センター内の刊行物サービスコーナー(※)において、本市等が作成した刊行物等の有償頒布を行います。

※新市庁舎移転後はふれあいショップ内の市政刊行物・グッズ販売コーナー

### (3) 個人情報保護推進事業 4,254千円 (前年度4,071千円)

本市が保有する個人情報の保護について条例所定の事項を審議する「横浜市個人情報保護審議会」や、本市の個人情報取扱事務を外部委員が実地において調査・評価する「横浜市個人情報保護に関する第三者評価委員会」を運営するとともに、個人情報に関する市民・事業者からの相談に対応するなど、個人情報保護施策を推進します。また、同審議会において、社会保障・税番号制度導入に伴う特定個人情報保護評価の第三者点検を実施します。さらに、特定個人情報の取扱いの保護を徹底し、円滑に運用します。

(横浜市個人情報の保護に関する条例、横浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に関する条例)

### (4) 行政文書検索システム運用事業 28,444千円 (前年度13,899千円)

文書管理システムとの連携により、行政文書の目録情報の検索をホームページ上から常時行うことができる行政文書検索システムを運用します。

2年度は、サーバー機リース終了に伴い、システムを更新します。

### (5) 事務管理費 2,938千円 (前年度2,988千円)

局全体の円滑な業務執行に資するため、庶務事務等に要する経費を計上するほか職員研修など人材育成を行います。

### (6) 職員人件費 13,184,955千円 (前年度13,316,350千円)

市民局及び区役所戸籍課等の職員人件費です。

常勤一般職員 1,523 人

再任用職員 94 人



3款1項2目 人権施策推進費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源内訳			
				国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
	52,630	53,260	△630	20,249	0	6,007	26,374

人権に関する施策の企画・調整及び推進に要する経費です。

**(1) 人権施策推進事業** **26,698千円** (前年度26,760千円)

横浜市人権施策基本指針に基づき、「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現を目指して、人権に関する施策を総合的に企画・調整するとともに、人権キャンペーンや講演会、広報よこはま人権特集ページの作成等といった人権啓発事業及び職員の人権啓発研修等を行い、市民、事業者、団体等全ての人々に向けた啓発・研修を推進します。

**(2) 犯罪被害者等支援事業** **14,966千円** (前年度19,000千円)

途切れない支援の実現を目指し、「横浜市犯罪被害者等支援条例」に基づき、犯罪被害者相談室において、犯罪被害者等の相談をはじめ、日常生活を営むための家事等の支援、居住が困難となった場合の転居費助成、経済的負担の軽減のための見舞金の支給のほか、法律相談や精神的な被害の回復支援等を行います。

また、犯罪被害者等の方々が置かれた状況や心情について、市民の皆様の理解を促進するための普及啓発活動や職員研修等を実施します。

加えて、庁内関係所管部署や関係機関との連携体制の整備・強化を図ります。

**(3) 性的少数者等支援事業** **7,500千円** (前年度7,500千円)

性的少数者の方々が安心して暮らせる社会を目指して、差別や偏見の中で、孤立しがちな、性的少数者の困難などを解消するための支援として、誰にも相談できずに孤立し、引きこもりや自殺という深刻な状況に陥りがちな青少年層を中心に、臨床心理士による個別専門相談のほか、性的少数者であることを隠すことなく、安心して過ごすことができる交流の場を提供します。

また、性的少数者支援に関する市民の皆様の理解拡大に向け、職員に対する研修や市民向け講演会等を行います。

加えて、パートナーシップ宣誓制度について、円滑かつ適切に実施します。

**(4) 人権に関する市民意識調査事業** **3,466千円** (前年度0千円)

市民の皆様の人権に関する意識を把握し、人権啓発事業をはじめ人権に関する様々な取組をより効果的に推進していくために、5年に1度実施している「人権に関する市民意識調査」を実施します。調査結果については、横浜市人権施策基本指針の次期改訂に反映させるなど、人権施策の推進に生かします。

3款1項3目 広報広聴費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源内訳			
				国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
	1,075,464	1,134,816	△59,352	142,666	0	39,057	893,741

広報・広聴相談事業等に要する経費です。

各広報媒体を効果的に活用し、市民の皆様が必要とする市政情報や緊急情報を正確・確実に分かりやすくお伝えするとともに、横浜の魅力を市内外へ発信します。

また、市民ニーズを把握する広聴事業や、市民の皆様からの問い合わせに対応するサービスを行う横浜市コールセンター事業など、様々な広報・広聴事業を展開します。

**(1) 「広報よこはま」発行事業** **337,129千円** (前年度325,158千円)

本市の施策、事業等を市民の皆様にも周知するための市の基幹的な広報媒体として「広報よこはま」市版を毎月1日に発行し、各世帯へ配布します。

**(2) テレビ・ラジオ広報事業** **146,470千円** (前年度145,154千円)

市政情報をわかりやすく伝え、市の魅力を市内外に向け発信するため、テレビ・ラジオによる市政広報番組を毎週放送します。

**(3) インターネット広報事業** **45,418千円** (前年度174,941千円)

市ウェブサイトを安定稼働させるとともに、適時・的確な情報発信を行います。また、リニューアル後に実施した効果検証結果を踏まえ、利便性の向上に取り組みます。

**(4) 季刊誌「横濱」協働編集事業** **9,082千円** (前年度8,865千円)

横浜のさまざまな魅力を市内外に発信し郷土意識を醸成すること、また、横浜の文化・歴史・自然などを記録・保存していくことを目的として、季刊誌「横濱」を民間事業者と協働で編集し、有償販売します。

**(5) 「暮らしのガイド」協働編集等事業** **8,902千円** (前年度9,541千円)

日常生活にかかわりのある市の制度、窓口、施設などの行政情報と、民間情報を合わせて掲載した生活情報誌「暮らしのガイド」を民間事業者と協働で編集し、転入者・希望者に配布します。

**(6) 交通広告活用事業** **11,053千円** (前年度10,945千円)

電車の広告枠を活用し、横浜の魅力や本市の重要施策を市内外に広報します。

**(7) 市政広報動画作成事業** **14,894千円** (前年度17,836千円)

地域に密着した情報を提供するケーブルテレビにおいて、市民の生活を豊かにする生活情報と「広報よこはま」のPRを含む5分の動画番組を放送します。

また、市政情報に接する機会の少ない就労者層・学生層に向けて、強制視認性の高い車内モニターや新市庁舎に導入されるサイネージで「動画」を活用した広報を行います。

**(8) 「県のたより」配布事務** **126,240千円** (前年度125,760千円)

県の依頼を受けて「県のたより」を配布します。(経費は全額県負担)

**(9) 広聴事業** **2,162千円** (前年度2,577千円)

「市民からの提案」、「市長の集会広聴」や、「ヨコハマeアンケート」など各種広聴を通じて市民の皆様の声を幅広く受け止め、市民サービスの向上や施策反映につなげます。

**(10) 広聴情報データベースシステム事業** **4,812千円** (前年度6,697千円)

寄せられた市民の声を整理し、情報共有するために広聴情報データベースシステムを運用します。

**(11) 市民相談事業** **44,780千円** (前年度47,810千円)

市政相談をはじめ、専門相談員による法律相談、司法書士相談、交通事故相談、公証相談、宅地建物相談等を実施します。また、市民向けに法律知識の普及を図るため、市民法律講座を実施します。

**(12) 横浜市コールセンター事業** **297,563千円** (前年度234,959千円)

市役所や区役所の各種手続、イベント、施設等の市政情報や生活情報など様々な問合せに、8時から21時まで年中無休で対応するとともに、区役所代表電話及び新たに市庁舎代表電話の交換業務を行います。受付時間外には、災害情報が市内に出されている場合に自動音声でお知らせします。

**(13) 「庁内報」発行事業等** **26,959千円** (前年度24,573千円)

「庁内報」発行経費及び広報・広聴事務費

3款1項4目 市民協働推進費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源内訳			
				国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
	2,164,535	2,233,592	△69,057	22,776	0	73,382	2,068,377

協働の取組の推進、地域活動や市民公益活動の活性化、及び地域防犯力の向上に向けた支援に要する経費です。

**(1) 元気な地域づくり推進事業** **64,127千円** (前年度79,901千円)

自治会町内会をはじめとした様々な団体や人々、NPO法人、企業と区役所等が連携して地域の課題解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めていくため、区とともに地域の取組を支援します。

また、活動の担い手不足に対応するため、地域人材の発掘・育成に全区で取り組みます。

ア 地域運営補助金を活用した、地域の様々な団体が協働して行う課題解決の取組の支援

イ コーディネーター派遣によるアドバイス

ウ 地域の課題解決や魅力づくりを学ぶ講座の実施などによる担い手育成

**(2) 地域活動推進費** **1,148,842千円** (前年度1,150,621千円)

ア 自治会町内会活動への支援

自治会町内会・地区連合町内会が実施する公益的活動の経費の一部（補助率1/3、上限あり）を補助します。

また、市町内会連合会・区連合町内会の運営補助及び加入案内などの事業に対する支援を行います。

イ 自治会町内会加入・活性化促進事業

市町内会連合会とともに自治会町内会活動のPRや地域活動の事例紹介等に取り組み、自治会町内会への加入を促進します。

また、自治会町内会・地区連合町内会の活動状況を把握し、今後の参考とするため、アンケートを実施します。

**(3) 自治会町内会館整備助成事業** **146,870千円** (前年度157,300千円)

自治会町内会が整備する会館の建設費の一部（補助率1/2、上限あり）を補助します。

また、風水害等の自然災害による緊急修繕に対応します。

ア 自治会町内会館整備助成事業 **146,870千円**

うち

・耐震化を目的とした整備に対する助成 **23,540千円**

・風水害等の自然災害による緊急修繕に対する助成

**5,000千円**

イ 補助の種類及び予定件数

(ア) 新築・建替え **5件 (2件)**

(イ) 増築・改修 **3件 (1件)**

(ウ) 修繕 **42件**

(エ) 修繕（緊急対応分） **5件**

※ ( ) 内は内数で耐震化を目的とした整備に対する助成予定件数

**(4) 市民活動保険事業** **22,265千円** (前年度22,265千円)

市民の皆様が安心してボランティア活動を行えるよう、ボランティア活動中の事故を対象に市民活動保険事業を実施します。

**(5) 市民協働等推進事業** **3,352千円** (前年度8,695千円)

「絆・支え合い条例」、「市民協働条例」の趣旨を踏まえ、市民の皆様との絆づくり、支え合いや協働を進めます。

ア 市民協働等推進事業

市民協働推進委員会の運営、協働の提案支援事業、認定・指定NPO法人活動支援事業等を行います。

イ 災害ボランティア支援事業

「横浜災害ボランティアネットワーク会議」が実施する広報事業等に対して負担金を交付します。

**(6) 特定非営利活動法人認証等事務** **10,784千円** (前年度11,233千円)

特定非営利活動促進法(NPO法)に基づき、特定非営利活動法人の認証、認定・指定に関する事務を行うとともに、指導・監督を行います。

**(7) 各区市民活動支援センター事業** **3,899千円** (前年度94,095千円)

各区市民活動支援センターのコーディネート機能充実のため、機能強化の取組支援等を行うとともに、港南区民活動支援センター移転に向けた準備を行います。

**(8) よこはま夢ファンド事業** **73,171千円** (前年度69,911千円)

市民の皆様や企業等から寄附を募り、市民活動推進基金(よこはま夢ファンド)に積み立て、NPO法人や市民活動団体の運営を支援します。

ア よこはま夢ファンド助成

登録したNPO法人を対象として、公益的な活動や組織基盤の強化にかかる費用を助成します。

イ 市民活動団体運営支援

市民活動団体への支援として、会計など運営に資する講座を開催します。

**(9) 市民協働推進センター事業** **50,000千円** (前年度0千円)

現在の市民活動支援センターの機能を整理したうえで移転し、令和2年6月、新市庁舎1階に「市民協働推進センター」を開設します。

引き続き、各種講座の開催や相談対応等の市民活動支援を行うほか、協働による地域課題の解決に向けた相談、提案の総合相談窓口を設けるなど、機能の拡充を図ります。

**(10) 防犯活動支援事業** **7,952千円** (前年度5,042千円)

地域における犯罪の防止や防犯意識の向上を図るため、各区の実情に応じて予算配付を行い、地域防犯力の向上を支援します。また、市域での犯罪発生の実態に応じて、神奈川県警察等と連携し啓発活動等を実施します。

「横浜市落書き行為の防止に関する条例」の趣旨を踏まえ、市民一人ひとりの落書き防止に関する意識高揚を促し、安全安心なまちづくりを推進します。

ア 地域防犯啓発事業支援

イ 緊急防犯対策事業（特殊詐欺対策、青葉区での通学路防犯対策等）

ウ 落書き行為防止啓発事業

**(11) 地域防犯カメラ設置補助事業** **27,000千円** (前年度32,400千円)

犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた地域の自主的な防犯活動を支援するため、自治会町内会等に対し、道路等の公共空間を撮影することを目的とした防犯カメラ設置の費用の一部を補助します。

**(12) 子ども安全支援事業** **708千円** (前年度708千円)

子どもの安全確保に向けて、リーフレットの配布や啓発イベント等を通じて子どもや保護者の防犯意識の向上を図るとともに、多方面の情報収集・意見交換による情報共有や関係機関との一層の連携強化を図ります。

**(13) 安全・安心のまちづくり対策パトロール事業** **12,836千円** (前年度8,557千円)

地域、区役所、県警察などと連携を図りながら、自治会町内会をはじめとした地域が取り組む防犯活動を補完するため、車両による防犯パトロールを通年で実施します。令和2年度は新入生の登校時の安全を確保するため、年度当初の登校時間帯にもパトロールを実施します。

**(14) 初黄・日ノ出町地区防犯対策支援事業** **1,150千円** (前年度1,285千円)

初黄・日ノ出町地区において、県警察・地域・関係機関と連携した防犯対策を推進します。

**(15) 横浜市防犯協会連合会補助金** **3,381千円** (前年度3,381千円)

各防犯協会・協力会が実施している防犯諸活動が、活発かつ円滑に推進できるよう横浜市防犯協会連合会へ補助金を交付します。

**(16) LED防犯灯設置維持管理事業** **588,198千円** (前年度588,198千円)

地域の防犯環境の向上と自治会町内会の負担軽減を図るため、LED防犯灯の設置を行います。

また、横浜市が所有するLED防犯灯の電気料金の支出、修繕等の維持管理を行うほか、自治会町内会等が所有する防犯灯の維持管理費について補助金を交付します。

ア 横浜市が所有する防犯灯 約17万9千灯

イ 自治会町内会等が所有する防犯灯 約1万灯

3款1項5目	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳			
				国・県	市債	その他	一般財源
スポーツ振興費	千円 6,316,204	千円 5,442,948	千円 873,256	千円 34,156	千円 1,934,000	千円 531,517	千円 3,816,531

年齢や障害の有無などにかかわらず、市民の誰もが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、関係諸団体や市民との連携・協働を進めながら、身近な場所で気軽にスポーツが行える環境づくりを推進します。

そのために、体育館やプール等スポーツ施設の管理運営、今後の状況に応じたイベントの企画・開催、情報の収集・発信や人材の養成など各種事業を実施するとともに、インクルーシブスポーツの推進にも取り組みます。

また、新型コロナウイルスの影響で東京2020大会の開催が1年延期となったことを踏まえ、大会組織委員会をはじめとした関係機関と連携しながら、より安全で円滑な大会運営に向けて着実に取り組みます。

**(1) スポーツ関係団体支援事業** **446,085千円** (前年度501,916千円)

横浜市スポーツ協会等との連携・協働により市民スポーツの普及・振興を図るため、事業費等を補助し、地域レベルでの活動を支援します。

**(2) 市民スポーツ振興事業** **75,937千円** (前年度40,870千円)

市民が身近な場所で生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境づくりに取り組みます。

また、子どもの体力向上に取り組むとともに、スポーツを通じた国際交流・親善を深めるほか、共生社会の実現を目指し、インクルーシブスポーツを推進します。

さらに、ラグビーワールドカップ2019<sup>™</sup>の成功を契機とした更なるスポーツ振興に向けて、子どもたちへのラグビーの普及や、女子ラグビー等の推進、トップレベルの試合の誘致等を行います。また、子どもたちが芝生でラグビーの練習ができる場等を含め、様々な球技について調査を実施する等、市民スポーツの「する」「みる」「ささえる」を推し進めます。

そのほか、市民が積極的・自発的にスポーツに関われる体制作りやその支援を行うため、横浜市スポーツボランティアセンターを支援します。

ア スポーツ推進委員支援事業	5,862千円
イ 地域スポーツ支援事業	11,567千円
(ア) 総合型地域スポーツクラブ支援費	600千円
(イ) ヨコハマさわやかスポーツ普及事業	5,110千円
(ウ) 地域スポーツ人材養成・活用事業	2,300千円
(エ) 子どもの体力向上事業	457千円
(オ) その他事務費等	3,100千円
ウ インクルーシブスポーツ推進事業	5,000千円
エ ラグビーワールドカップレガシー事業	28,000千円
(ア) ラグビーの普及事業	15,000千円
(イ) ラグビー等球技の推進に関する調査	13,000千円
オ スポーツ国際交流事業	6,195千円
カ ジュニア競技力向上事業	3,624千円
キ 横浜市スポーツボランティアセンター運営事業	5,200千円
ク スポーツ推進審議会費	3,489千円
ケ 学校施設への夜間照明設置事業	7,000千円

**(3) スポーツイベント開催等事業****187,467千円**

(前年度194,309千円)

市民スポーツの普及・振興のため、市民参加型の大会やイベントを開催し、市民がスポーツに触れる機会を提供するとともに、市内のトップスポーツチームと連携した地域貢献活動等を通じたスポーツ振興を行います。

また、大規模スポーツイベントを誘致・開催支援することにより、市民が一流選手のプレーを身近で観戦できる機会を増やし、市民のスポーツに対する理解と関心を高め、横浜の魅力を発信するなど、スポーツ振興やシティセールスを図ります。

ア	市民参加型スポーツイベント等開催事業	11,789千円
	(ア) 横浜元気!!スポーツ・レクリエーション フェスティバル(9~11月※原則10月)	3,000千円
	(イ) 横浜市民体育大会(通年)	2,100千円
	(ウ) YOKOHAMAビーチスポーツフェスタ(8月)	2,220千円
	(エ) よこはまこどもマリンスクール	750千円
	(オ) 横浜シーサイドトライアスロン大会(9月)	1,600千円
	(カ) その他スポーツイベント開催費等	2,119千円
イ	横浜マラソン開催事業	100,000千円
ウ	観戦型スポーツイベント等開催事業	70,808千円
	(ア) ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会(5月)	50,000千円
	(イ) 全日本少年軟式野球大会(8月)	3,000千円
	(ウ) スポーツツーリズム推進費	1,200千円
	(エ) 大規模スポーツイベント誘致・開催支援事業等	16,608千円
エ	トップスポーツチーム連携事業	4,500千円
オ	JOCパートナー都市協定事業	370千円

※イ、ウ(ア)及び(イ)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

**(4) スポーツ施設等管理運営事業****4,364,858千円**

(前年度2,498,983千円)

体育館やプール等のスポーツ振興課所管施設の管理運営を行うとともに、各区所管スポーツセンターの修繕等を実施します。また、特定天井脱落対策事業対象施設の設計・工事を行うとともに、特定天井脱落対策工事に合わせスポーツセンターの体育室に空調機を設置するための設計・工事を実施します。

さらに、横浜文化体育館再整備事業では、PFI事業で整備中のサブアリーナ施設(横浜武道館)が2年7月に供用開始となるため、PFI事業費の支払いを開始します。また、民間収益施設(病院)敷地内の旧河川護岸の解体工事を行うとともに、現横浜文化体育館の解体工事を実施します。

屋外プール再整備事業では、本牧市民プール再整備の事業者公募を実施するとともに、既存施設の解体工事を元年度に引き続き実施します。

ア	スポーツ施設管理運営事業	2,973,841千円
	(ア) 横浜国際プール管理運営費	410,194千円
	(イ) 横浜文化体育館管理運営費	71,376千円
	(ウ) 平沼記念体育館管理運営費	23,386千円
	(エ) 港南・保土ヶ谷・金沢プール管理運営費	81,674千円
	(オ) 旭・都筑プール管理運営費	68,794千円
	(カ) 特定天井脱落対策事業	682,701千円
	(キ) スポーツセンター体育室空調設置事業	251,697千円
	(ク) 保土ヶ谷プール大規模修繕事業	947,090千円
	(ケ) 港北スポーツセンター用地購入費	300,000千円
	(コ) 東京2020大会開催関連スポーツ環境整備事業	22,238千円
	(サ) 施設・設備維持修繕費等	114,691千円
イ	屋外プール再整備事業	130,151千円
ウ	横浜文化体育館再整備事業	1,224,369千円
エ	市民利用施設予約システム事業	36,497千円



**(5) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催推進事業**

**1,241,857千円**

(前年度363,081千円)

新型コロナウイルスの影響で大会の開催が1年延期となったことを踏まえ、大会組織委員会をはじめとした関係機関と連携しながら、都市ボランティアの準備など、より安全で円滑な大会運営に向けて着実に取り組みます。また、大会に向けた機運醸成や英国等の事前キャンプ受入れに向けた調整や準備、ホストタウンの取組などを引き続き行います。

さらに市民、とりわけ次代を担う子どもたちのより一層のスポーツ振興を図るため、オリンピック・パラリンピアンと連携した学校訪問等を実施していきます。

ア 東京2020オリンピック・パラリンピック横浜市推進事業	1,224,127千円
(ア) 本市開催競技の運営支援	193,200千円
(イ) 都市ボランティアの配置・運営等	305,309千円
(ウ) 機運醸成の取組	504,570千円
(エ) 事前キャンプ受入れ	87,700千円
(オ) ホストタウン関連の取組	69,947千円
(カ) その他事務費等	63,401千円
イ オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ振興事業	17,730千円
(ア) オリンピアン・パラリンピアン等と連携した事業	14,180千円
(イ) パラリンピック競技の普及・啓発事業	3,550千円

3款2項1目 個性ある区づくり推進費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源内訳			
				国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
	15,536,843	15,383,359	153,484	203	0	333,455	15,203,185

身近な市民サービスの拠点である区役所が、区庁舎・区民利用施設の管理運営や、地域の特性やニーズに応じて個性ある区づくりを推進するための経費です。

2年度においても、引き続き、地域との協働で課題の解決を進められるよう、各区の特性に応じた様々な事業を展開します。

**(1) 自主企画事業費 [553事業] 1,842,713千円** (前年度1,856,943千円)

地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費

**(2) 統合事務事業費 842,751千円** (前年度834,137千円)

広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護、及び戸籍・住民登録等に係る経費

**(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 10,682,018千円** (前年度10,572,489千円)

区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費

(単位：千円)

施設の種別等	予算額	備考
区庁舎等	2,094,321	区役所 (18) 行政サービスコーナー (10)
区版市民活動支援センター	161,356	18か所
土木事務所	165,861	18か所
公会堂	615,700	18か所 (17館指定管理者導入) ※港南区休館
地区センター等	3,088,193	地区センター (80) 集会所 (5) スポーツ会館 (11)
こどもログハウス	147,904	18か所
区民文化センター	1,141,362	9か所
老人福祉センター等	931,412	老人福祉センター (18) 老人憩いの家 (2)
コミュニティハウス	1,280,058	119か所
区スポーツセンター	763,513	18か所
その他 (広場・遊び場等)	155,205	
区庁舎・区民利用施設修繕費	137,133	
合計	10,682,018	

**(4) 区行政推進費 2,169,361千円** (前年度2,119,790千円)

区役所会計年度任用職員人件費や区役所との連絡調整等に係る経費

3款2項2目 戸籍住民登録費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源内訳			
				国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
	6,275,999	2,697,054	3,578,945	4,847,313	0	1,545,635	△116,949

戸籍住民登録事務、社会保障・税番号制度対応、行政サービスコーナーの運営、住居表示整備等の事業を円滑に実施していくとともに、窓口サービス向上の取組を引き続き実施します。

- (1) **戸籍住民登録事務費等** **444,609千円** (前年度417,923千円)  
戸籍住民登録事務、印鑑証明事務など区役所戸籍課で行う業務を、円滑に実施するための支援を行います。
- (2) **戸籍システム運用事業** **288,492千円** (前年度320,652千円)  
戸籍システム関連の稼働状況監視や機器、ソフトウェアの保守、障害発生時の復旧作業など、戸籍システムを安定稼働させるための運用・保守を行います。
- (3) **戸籍システム関連業務支援拠点運営事業** **202,867千円** (前年度214,413千円)  
区で受け付けた届出書に係る戸籍システムへの入力作業等について、戸籍システム関連業務支援拠点で一括して行います。
- (4) **社会保障・税番号制度対応事業** **4,850,612千円** (前年度1,274,642千円)  
区役所戸籍課において、マイナンバーカードの交付やカードに記録された電子証明書の有効期限満了に伴う更新を行います。国のマイナンバーカードの普及と利活用に関する方針に基づき、カード交付窓口の拡充等に取り組みます。
- (5) **証明発行システム運用事業** **83,533千円** (前年度82,522千円)  
証明発行システムの稼働状況監視や機器、ソフトウェアの保守、障害発生時の復旧作業など、証明発行システムを安定稼働させるための運用・保守を行います。
- (6) **行政サービスコーナー運営事業** **46,503千円** (前年度24,793千円)  
市内10か所の行政サービスコーナーを運営します。
- (7) **郵送請求事務センター運営事業** **235,332千円** (前年度246,091千円)  
住民票の写しや戸籍関係証明書等に関する郵送請求による証明発行事務について、横浜市郵送請求事務センターで一括して行います。
- (8) **コンビニエンスストアにおける証明書交付事業** **74,579千円** (前年度75,766千円)  
コンビニ交付システムを安定稼働させるための運用・保守を行います。
- (9) **魅力ある窓口づくり推進事業** **3,829千円** (前年度3,829千円)  
区役所窓口のお客様満足度の向上に向けて、区と連携した窓口サービス向上研修や窓口サービス満足度調査などに取り組みます。
- (10) **住居表示整備等事業** **45,643千円** (前年度36,423千円)  
住所を分かりやすくするため、保土ヶ谷区西谷地区で住居表示整備事業に取り組みます。また、障害者施設と連携して、街区表示板の点検・補修・再設置等事業を行います。

3款2項3目 地域施設費	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度の財源内訳			
				国・県 千円	市債 千円	その他 千円	一般財源 千円
	6,997,924	4,661,512	2,336,412	109,204	4,464,000	203,383	2,221,337

区庁舎等の庁舎施設及び地区センター等の市民利用施設の整備・改修に要する経費です。

**(1) 区庁舎等再整備・維持管理** **4,975,612千円** (前年度2,752,388千円)

公会堂、土木事務所の再整備及びPFI事業費の支払いを行います。

ア 港南区総合庁舎 **3,677,121千円**

公会堂・土木事務所の再整備工事を行います。

イ 戸塚区総合庁舎 **557,593千円**

PFI事業契約に基づき、PFI事業費の支払を行います。

ウ 瀬谷区総合庁舎 **740,898千円**

PFI事業契約に基づき、PFI事業費の支払を行います。

**(2) 区庁舎等耐震性強化事業** **926,628千円** (前年度453,051千円)

特定天井脱落対策として、公会堂等の天井改修のため、鶴見公会堂、西公会堂、瀬谷公会堂の調査・基本設計、青葉公会堂、栄公会堂の実施設計及び磯子公会堂、港北公会堂、青葉区総合庁舎の工事を行います。

**(3) 区庁舎等の環境改善** **389,460千円** (前年度517,714千円)

区庁舎、公会堂、土木事務所の利便性の向上、環境改善等を行います。

ア 区庁舎等環境改善 **368,032千円**

区庁舎駐車場や庁舎内の待合スペース、トイレ、空調などの環境改善の取組を進めます。

また、国指定重要文化財である開港記念会館の補修に向けた実施設計を行います。

イ 区庁舎敷地・床取得調整事業 **4,872千円**

鶴見区総合庁舎内の旧県税事務所の床の賃借を行います。

ウ 区庁舎・周辺施設利活用事業 **16,556千円**

消防本部庁舎再整備に伴い、保土ヶ谷区役所敷地内の配管切回し工事等を行います。

**(4) 地域施設整備等事業****570,986千円** (前年度755,076千円)

地区センター及びコミュニティハウスの整備等を行います。

**ア 地区センター再整備等事業**(ア) 地区センターの新設・移転再整備 **48,101千円**

都田地区センター(仮称)の新設整備に向けて、工事を行います。

また、本郷地区センターの移転再整備に向けた調整を行います。

(イ) 特定天井脱落対策 **250,814千円**

潮田、篠原地区センターの天井改修に向けた基本設計及び、矢向、白幡、北山田、上郷、竹之丸、大場みすずが丘地区センターの天井改修に向けた実施設計を行います。

また、寺尾、本牧、中村、若葉台、奈良、下和泉地区センターの天井改修工事を行います。

(ウ) 地区センター体育室における空調設備の設置 **145,377千円**

寺尾、本牧、若葉台、綱島地区センター体育室の空調設備設置の工事を行います。

(エ) 地区センター等の施設修繕等 **76,334千円**

地区センター等における施設修繕等を行います。

(オ) その他事務費等 **1,058千円****イ コミュニティハウス整備事業**(ア) 学校建替えに伴う複合化 <保土ヶ谷区・都筑区> **694千円**

上菅田笹の丘コミュニティハウス(仮称)の実施設計及び勝田小コミュニティハウス(仮称)の基本設計を行います。

(イ) 西柴コミュニティハウス(仮称) <金沢区> **36,020千円**

新設整備に向け、既存施設解体工事及び新設設計を行います。

(ウ) 丸山台コミュニティハウス(仮称) <港南区> **2,030千円**

新設整備に向け、基本設計を行います。

**ウ 子どもの遊び場等遊具保全事業** **10,558千円**

子どもの遊び場等の遊具について保全等を行います。また、青葉区北西線高架下の活用についての実施設計を行います。

**(5) 地区センター・公会堂等指定管理者選定事業****5,215千円** (前年度945千円)

地区センター条例施設103施設、公会堂5施設における指定管理者の選定作業を行います。

**(6) 上郷・森の家改修運営事業****130,023千円** (前年度182,338千円)

PFI事業契約に基づき、PFI事業費の支払を行います。



## VI 参考資料

### 令和2年度 自主企画事業費 区別一覧

(単位:千円)

区名	令和2年度	令和元年度	差引	頁
鶴見	109,209	108,120	1,089	30
神奈川	106,137	106,014	123	31
西	98,927	99,781	△854	32
中	100,764	100,794	△30	33
南	99,134	99,011	123	34
港南	107,376	107,178	198	35
保土ヶ谷	100,982	105,212	△4,230	36
旭	103,506	103,266	240	37
磯子	96,344	96,311	33	38
金沢	98,951	99,038	△87	39
港北	118,887	123,782	△4,895	40
緑	97,919	97,873	46	41
青葉	105,412	110,760	△5,348	42
都筑	101,026	101,290	△264	43
戸塚	104,392	104,633	△241	44
栄	103,646	102,897	749	45
泉	95,609	95,962	△353	46
瀬谷	94,492	95,021	△529	47
<b>合計</b>	<b>1,842,713</b>	<b>1,856,943</b>	<b>△14,230</b>	

## 予算編成の考え方

## ～ “いつまでも住み続けたいまち・鶴見” を目指して～

鶴見区では、区民や事業者、団体等皆様の視点に立った行政サービスの提供と、誰もが“いつまでも住み続けたいまち”を目指し、「地域力の強化」、「区内経済・活力の向上」、「子どもから大人まで安心・元気に」、「区民サービスの向上」の4項目の施策分野を設定し、施策のアクセントとバランスを意識しながら、区民や事業者の皆様との協働により、地域の課題解決に取り組みます。

## 予算の体系

## 【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：109,209千円

## 1 地域力の強化

32,337千円

地域の減災や防災力の向上に寄与する自助・共助の取組を積極的に支援し、災害に強いまちづくりを進めます。また、地域と連携した防犯・交通安全対策や「見守りの輪」の推進など、地域の力やつながりをはぐくむまちづくりを進めます。

《主な事業》防災活動推進事業、鶴見区防犯活動支援事業、鶴見・あいねっと推進事業

## 2 区内経済・活力の向上

31,357千円

多くの外国人が暮らすまちとして、誰もが安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを進めます。また、地域、企業、行政等の連携による賑わいづくりなど、鶴見の魅力を活かしたまちづくりを進め、その魅力を内外に発信することにより、より一層のまちの活性化を目指します。

《主な事業》多文化のまち・つるみ推進事業、「千客万来つるみ」プロモーション事業

## 3 子どもから大人まで安心・元気に

23,823千円

身近な地域での子育て支援や健康づくりなどの取組をより充実させ、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めます。

《主な事業》ヘルスアッププラン、つるみDE子育て応援事業、鶴見区高齢者はつつ生活応援事業

## 4 区民サービスの向上

21,692千円

区民に最も身近な行政機関として、区役所をはじめとした区内の各事業所において、丁寧でわかりやすい対応を心掛け、おもてなしの気持ちあふれるサービス提供を進めます。

《主な事業》鶴見区広報・広聴事業



予算編成の考え方

**笑顔でつながる『神奈川区』**

令和2年度予算では、地域の身近な課題にきめ細かく対応するとともに、子どもから高齢者まで誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられることができるよう、これまでの取組の成果を踏まえつつ、4つの施策に沿って着実に取り組みます。

予算の体系

**【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】**

**合計：106,137千円**

**(1) 安全・安心なまちづくり**

**36,063千円**

大地震や風水害時の迅速な避難行動や被害軽減につなげられるよう、自助の行動を促す取組を強化するとともに、町の防災組織の取組支援に加え、地域防災拠点の運営支援や環境整備等の共助の取組を推進します。さらに、地域や関係機関と連携を強化して防犯・交通安全・特殊詐欺対策を進めます。

《主な事業》地域防災力向上事業、振り込め詐欺等撲滅対策事業

**(2) 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり**

**18,638千円**

区民が自分の健康に関心を持ち、主体的に健康行動がとれるよう、幅広い世代を対象とした健康づくりを推進します。また、地域で安心して子育てができるよう親子のたまり場づくりや外遊び支援の充実などに取り組みます。あわせて、介護予防を推進し、認知症高齢者、障害児・者への支援に取り組みます。

《主な事業》かながわ健康づくり応援事業、かながわ子育て応援事業

**(3) 魅力にあふれ愛着が持てるまちづくり**

**9,806千円**

区の魅力を更に発信し、「かながわ愛」・「地域愛」を深めることで、幅広い世代の区民同士のつながりをはぐくみ、次世代につながるよう取組を進めます。また、区民・事業者とともに温暖化対策やまちの美化・3Rの推進に取り組みます。

《主な事業》神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

**(4) 地域のカやつながりをはぐくむまちづくり**

**27,282千円**

地域主体の持続可能なコミュニティの形成を進め、身近な課題を地域で話し合う場づくりを支援します。また、地域活動を支える担い手の育成を区民と協働で取り組みます。あわせて、「かながわ支え愛プラン」(神奈川区地域福祉保健計画)の第3期計画を地域と推進し、第4期計画の策定を進めます。

《主な事業》地域力アップ推進事業、地域福祉保健活動推進・支援事業

**<共感と信頼の区役所>**

**14,348千円**

「チーム神奈川」一丸となり、行政サービスの正確・迅速な実施や的確な情報発信を行います。また、人材育成・窓口等環境改善を進め、来庁者が利用しやすい区役所を推進します。

《主な事業》チーム神奈川おもてなし向上事業

予算編成の考え方

～つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ～

西区は、「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせなまち 西区へ」を基本目標に、地域の皆様と区役所が連携・協力し、様々な地域課題の解決を図りながら、より良いまちづくりを進めていきます。

令和2年度は、第3期「にこまちプラン」の最終年にあたり、現計画の総まとめと次期計画の策定を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築を西区行動指針に基づき進めます。

一方、まちのにぎわいづくりについては、東京2020オリンピック・パラリンピックやヨコハマトリエンナーレ2020を契機とした取組を進めるとともに、西区の歴史や地域資源を生かした伝統的な催事を地域・企業の皆さまと協働で実施します。

また、安全・安心なまちづくりについては、横浜駅やみなとみらい21地区等の大規模施設を抱える西区の特性と全市的な施策との連携を意識しながら事業に取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：98,927千円

1 地域のつながりづくり

10,557千円

誰もが安心して生活できる地域社会の仕組みづくりを目指し、「にこまちプラン」と「地域包括ケアシステム」を一体的に推進します。また、地域の皆様による見守り活動の支援を通じて、ひとり暮らし高齢者等と地域との顔の見える関係づくりを進めます。

《主な事業》「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の推進、西区ふれあい福祉推進事業

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

22,039千円

高齢者の安心生活をサポートするため、「地域包括ケアシステムの基盤づくり」「認知症等高齢者を支える地域づくりと予防を含めた認知症への備えを促す意識醸成」「健康づくり・介護予防普及啓発」の取組を推進します。また、障害理解促進のための啓発・PR、精神障害者等の自立支援、障害児・者の災害時対策等を実施します。

《主な事業》高齢者あんしん生活サポート事業、障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

29,213千円

東京2020オリンピック・パラリンピック、ヨコハマトリエンナーレ2020等の大規模イベント開催の機会を捉えて、活気や賑わいを西区全体に広げていくため、地域や商店街の皆様、企業の皆様と連携し、スポーツ、文化、環境、まちづくり等でこれからのつながる取組を推進し、回遊性向上を図ります。

身近な場所で季節を感じられるよう、地域の方々や児童・園児等と協力した公園の花植え等、「まち」の緑化を推進します。

《主な事業》地域資源を活用したまちの回遊性向上事業、商店街及び「まち」のにぎわい創出事業、西区の緑化と地域のつながり形成推進事業

4 安全・安心なまちづくり

27,612千円

自助・共助の取組を支援するとともに、西区の特性を踏まえた防災・減災対策に取り組みます。また、加速する社会情勢の変化に対応するため、環境対策・防犯・交通安全等の取組を強化します。

《主な事業》地域防災活動推進事業、西区環境行動推進事業、安心して暮らせるまちづくり推進事業

5 親しみやすい区役所づくり

9,506千円

区民の皆様寄り添った、きめ細かな窓口サービスの向上を進めるとともに、様々な広報媒体を活用し、広報の充実を図ります。

《主な事業》サービス改善推進事業、広報充実事業

予算編成の考え方

**誰もが安心と活力を実感するまち中区  
～住んでよし、働いてよし、訪れてよし～**

令和元年度中区運営方針においては、「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んでよし、働いてよし、訪れてよし～ ○安心して暮らせるまち ○共生の推進 ○活力を生む地域の賑わいづくり」を基本目標としています。令和2年度予算については、この運営方針の基本目標達成に向けた次の5つの施策に基づいて編成し、オリンピックイヤーにおける歩みをしっかりと進めていきます。

予算の体系

**【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】**

**合計：100,764千円**

**1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり**

**18,659千円**

コミュニティFMであるマリンFMを活用して防災情報を効果的にラジオで発信するとともに、地域防災拠点におけるエアーマットなどの必要な物品等の充実を図ります。また、地域・事業者・行政・警察等の防犯関係団体と連携し、引き続き地域の自主的な防犯活動等を支援します。

《主な事業》地域防災力向上事業、安全なまち・防犯対策推進事業

**2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり**

**23,015千円**

地区の課題や活動状況等を踏まえ、住民との協働によるプロセスを重視して第4期地域福祉保健計画を策定します。また、老人クラブへの加入促進を図るため、チラシ配布及びパネル展示等の啓発をさらに進めていきます。さらに、ひとり親家庭や障害児に係る相談にきめ細かく対応できるよう相談体制を強化します。

《主な事業》中なかいいネ！中区地域福祉保健計画推進事業、地域包括ケアシステム推進事業、  
みんなでSTOPザ虐待

**3 多文化共生のまちづくり**

**14,255千円**

多言語広報紙については、多文化理解が進むよう日本語版も作成します。また、国際交流ラウンジにおける地域へのヒアリングや人材育成に関する事業を拡大します。さらに、外国人意識調査を新たに実施することで外国人区民が直面する課題・ニーズを把握し、今後の政策立案等に活用します。

《主な事業》多文化情報発信事業、多文化交流事業、多文化共生まちづくり事業

**4 地域の活力があふれるまちづくり**

**21,761千円**

区民や来街者に中区の文化・歴史の魅力を発信するため「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を改定し発行します。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、野球・ソフトボールを中心に機運の醸成を図るとともに、引き続き区民のスポーツ振興や青少年の健全育成に取り組みます。

《主な事業》まちづくり推進事業、スポーツ・青少年事業

**5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり**

**23,074千円**

区役所利用者にとって、より利用しやすい庁舎となるよう庁舎・設備等の改修を進めるとともに、地域の賑わいづくりや来街者の回遊性向上に寄与するような庁舎改修を進めます。

《主な事業》利用しやすい区役所づくり事業

予算編成の考え方

～区民のみなさまとの協働のもとで、

「あったかい」南区をつくります～

引き続き「減災」「賑わい」「健やか」「こども」の4つを重点に位置付け、「地域の力」を応援することを取組の礎として、予算編成を行いました。事業の推進にあたっては、「仕事の基本」を組織全体で大切にしながら、それぞれの職位に応じた役割を果たすとともに、区役所全体でチーム力を発揮します。また、区の取組をしっかりと伝えながら、これからも地域の皆様と「共感と信頼」をはぐくみ、暮らしやすいまちをつくります。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：99,134千円

1 減災

14,867千円

大地震、土砂災害などで大きな被害が想定される南区では、被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助・共助力を高め、地域防災力の向上を支援します。

《主な事業》みなみ減災推進事業

2 賑わい

32,916千円

下町情緒あふれる商店街、南区4大まつり、歴史ある寺社や文化財など魅力ある資源を生かし、市内外からの誘客に力を入れるとともに、オリンピック・パラリンピック開催にあわせ、区全体がスポーツで盛り上がる取組を進めます。また、多文化共生のまちづくりを推進します。

《主な事業》南区あったかいふるさとまつり事業、区民スポーツ支援事業、みなみ多文化共生推進事業

3 健やか

16,571千円

幼少期からの食育の推進、働き・子育て世代からの生活習慣病予防や運動習慣の定着、介護予防などの取組を進め、いくつになっても地域で自分らしく暮らすことを目指します。また、第4期南区地域福祉保健計画を策定します。

《主な事業》健やか元気応援事業、いきいきシニア健康応援事業、地域福祉保健計画等推進事業

4 こども

6,287千円

子どもを地域と共に見守ることや、多様な情報を発信することなどにより、子育て支援や青少年の健全育成を進めます。また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

《主な事業》すこやか子育て支援事業、青少年育成事業

<地域の力>

4,240千円

地域の実情に応じて地域活動を支援し、区民の皆様と一緒に地域の活性化に取り組みます。

《主な事業》地域の力応援事業、クリーン・グリーンロードみなみ

<着実に取り組む事業>

24,253千円

交通安全・防犯対策、ごみ減量や温暖化対策などの取組を通じて、区民の皆様により添った区役所づくりを進めます。

《主な事業》地域で守ろう私の安全安心事業、みなみチャレンジごみ減量事業

予算編成の考え方

～愛あふれる♥ふるさと港南に～

令和2年度は区制50年の次の時代に向けて、地域・学校・事業者の皆様とのつながりを一層広げ、協働による地域づくりを深めます。

特に「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」の取組を重点に進め、次代を担う子ども達のためにも、安全で、誰もが住み続けたいと思う「ふるさと港南」をさらに目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：107,376千円

1 安全・安心のまちづくり

30,824千円

向こう三軒両隣に「お互い様」の関係ができ、いざという時に助け合えるよう、地域の防災・減災の取組を支援し、様々な担い手による見守り・支え合いを推進します。

《主な事業》災害に強いまちづくり事業、安全で快適な生活推進事業、地域福祉保健活動推進事業、地域カステップアップ事業

2 一人ひとりが元気に暮らせるまちづくり

19,504千円

様々な事業・団体が連携して、健康づくりや介護予防に取り組みます。また、スポーツや文化などの活動機会を創出するとともに、地域包括ケアシステムの構築を進め、誰もが安心して暮らせる元気なまちづくりを進めます。

《主な事業》健康アクションこうなん5、地域スポーツ応援事業、高齢者元気応援事業、障害者いきいき生活応援事業

3 子ども・青少年が健やかに育つまちづくり

14,934千円

安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、子どもの健康づくりを支援します。また、切れ目のない子育て支援を推進し、地域・学校と連携して、青少年の健全育成や見守り活動を進めます。

《主な事業》地域で子育て応援事業、青少年みらい応援事業

4 住み続けたいまちづくり

28,330千円

歩行者の安全に配慮した交通の実現、区の花ひまわりを通じた魅力づくりを推進します。また、地域の美化活動や、ごみの減量化に向けた取組を支援します。

《主な事業》交通安全施設等補修事業、みんなでつくるふるさと港南事業、港南公会堂竣工記念式典事業、ヨコハマ3R夢！推進事業

5 正確・丁寧な行政サービスの提供

13,784千円

来庁された皆様一人ひとりの気持ちに寄り添い、行政サービスを正確かつ丁寧に心を込めて提供することで、「来てよかった」と感じてもらえる区役所づくりを進めます。

《主な事業》わかりやすい情報提供事業、快適区役所推進事業

予算編成の考え方

～いつまでも住み続けたいまち ほどがや～

令和2年度予算は、基本目標である「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現に向けて、4つの施策分野と信頼される区役所づくりの5分野にまとめました。区民の皆様の思いや地域のつながりを大切にしながら、全38事業を推進していきます。また、事業の推進にあたっては、地域との協働や各課との連携を促進し、区役所をあげて全職員が一丸となり「チーム保土ケ谷」で取り組みます。

予算の体系

**【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】** **合計：100,982千円**

**1 暮らしの安全・安心の確保** **23,088千円**

災害対策として、引き続き自助・共助による減災運動を推進します。また、皆様が安全に安心して暮らせるよう、交通安全対策、防犯、食の安全などに取り組みます。

《主な事業》災害対策推進事業、交通安全対策事業、保土ケ谷区地域防犯力向上事業  
暮らしの衛生サポート事業

**2 誰もが健やかに暮らせる環境づくり** **24,542千円**

誰もが住み慣れたまちでいきいきと健康に暮らせるよう、地域における様々な団体と協働しながら、子育てしやすい環境づくり、働き・子育て世代の生活習慣病予防、介護予防による健康寿命の延伸などに、切れ目なく取り組みます。

《主な事業》ほどがや歯つばいHealth事業、ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～  
輝けシニア！2025事業

**3 つながり・支えあいの推進** **21,981千円**

自治会町内会をはじめとした幅広い分野の皆様との協働の推進や、地域活動や団体間の連携強化の支援、地域に関心を持つきっかけづくりや担い手の発掘・育成に取り組みます。また、民生委員・児童委員を支援する協力員を配置し、ひとり暮らし高齢者などへの地域での見守り活動を推進します。さらに、障害のある方の社会参加の機会拡大に向けた取組を進めます。

《主な事業》保土ケ谷ほっとなまちづくり推進事業、地域見守り推進事業、ほどがや花のおもてなし事業

**4 魅力あるまちづくり** **18,666千円**

自然や歴史・文化などの地域資源を生かした取組や、鉄道駅周辺のまちづくり、交通ネットワークの向上など持続可能なまちづくりの推進、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録を契機とした各国との多文化共生の推進等、区の魅力を高めて発信し地域への愛着をはぐくみます。

《主な事業》歴史浪漫ほどがや事業、鉄道高架下を生かしたまちづくり検討事業、国際文化理解事業

**<信頼される区役所づくり～「チーム保土ケ谷」の強化～>** **12,705千円**

職員一人ひとりが業務知識・対応スキルの向上に取り組み、信頼され、親しまれるサービスを提供します。窓口サービスの効率化や利便性の向上を追求し、正確・適正な事務の執行を実践します。また、庁舎環境改善により、安心して快適に利用できる区役所づくりを推進します。

《主な事業》窓口サービス向上事業、「利用しやすい区役所」推進事業

## 予算編成の考え方

## ～子育て世代をはじめ多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現に向けて～

相鉄・JR直通線の開業による都心へのアクセス向上や、国際園芸博覧会の招致を見据えた旧上瀬谷通信施設の土地利用などまちづくりの動きが活発化しています。この機を捉え、水・緑・花に身近に触れ合いながら文化・スポーツを楽しみ、子どもをはぐくむ旭区の魅力を発信、創造します。

一方で、超高齢社会の進展に伴う様々な課題に対応するため、地域福祉保健計画を策定・推進するとともにオンデマンドバス実証実験などSDGsの視点で企業・団体、学校などとの多様なパートナーシップの動きを加速させ、複合的な課題の解決に取り組みます。

## 予算の体系

## 【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】 合計：103,506千円

## 1 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化でつながるまち 35,036千円

「選ばれ続けるまち旭区」の実現に向けた旭区誕生50周年の次の段階として、これまで区民と共有した区の魅力に磨きをかけるとともに、新たに実施する転入者アンケート調査の分析を踏まえ、転入実態に即した魅力発信を行います。さらに、区民協働による花壇の整備や豊かな自然を生かしたイベント、多世代が参加可能な「ボッチャ」の推進や様々な文化活動への支援を通して、地域のつながりを促進します。

《主な事業》あさひ魅力発見事業、水・緑・花を暮らしに取り入れた旭区魅力アップ事業、区民スポーツ事業

## 2 SDGs未来都市郊外部モデルの創造 7,000千円

企業・団体や学校、様々な分野の専門家や芸術家、学生など多様なパートナーシップにより、大規模団地再生や移動手段の確保といった地域課題の解決やSDGsの観点のチャレンジを加速させます。

《主な事業》SDGs未来都市の実現に向けた大規模団地再生事業

## 3 安全で安心して暮らせるまち 20,328千円

頻発する自然災害に備え、より一層の「自助」「共助」の意識醸成と、要援護者対応や医療体制を含めた地域全体の災害対応力を向上させるための施策を展開します。また、高齢者を対象とした交通安全教室の実施や、詐欺被害防止の取組を通して、防災・防犯・交通安全が一体となった安全で安心なまちづくりを推進します。

《主な事業》災害に強い区づくり事業、地域安全安心普及推進事業、交通安全対策事業

## 4 誰もが健康でしあわせな生活を送れるまち 31,104千円

地域活動の実践者による検討会や関連団体等へのヒアリングなど、当事者性を重視して次期地域福祉保健計画を策定します。また、ウォーキングの推進や働き・子育て世代への健康応援を通して、あらゆる世代での健康づくりを進めるとともに、妊娠期からの子育て支援を推進し、子どもの健やかな育ちを支えます。

《主な事業》地域福祉保健計画事業、健康生活支援事業、旭ウォーキングムーブメント創生事業  
子育て・若者支援事業、保育所地域子育て支援事業

## &lt;その他着実に推進する取組&gt; 10,038千円

重点的に実施する取組と合わせて、区民の視点に立った行政サービスを着実に推進していきます。

《主な事業》チーム旭で進める満足度向上事業、区民に身近で信頼される区役所事業

## 予算編成の考え方

## ～「地域の皆さまとともにつくる笑顔あふれるまち・いそご」～

令和2年度においては、令和元年度の基本目標である「地域の皆さまとともにつくる笑顔あふれるまち・いそご」を踏まえ施策を推進します。地域の皆様のご意見を広くお聞きし、区を取り巻く情勢等に基づき、将来を見据えた幅広い視点で、既存事業の見直しや新たな事業の検討を進め3つの柱に基づいて予算を編成しました。

## 予算の体系

## 【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：96,344千円

## 1 魅力にあふれた住み続けたいまち

44,031千円

人口推計によると、磯子区の人口は、令和4年以降、減少に転じると予測されています。そうした中、自治会町内会など地域で活躍する皆様に支援するとともに、地域課題にきめ細かく対応し、住みたい・住み続けたいまちの実現に向けた取組を推進します。

また、令和2年度には、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。このチャンスを逃すことなく、磯子の魅力を一層高め、商店街振興をはじめとする地域経済の活性化へとつなげていきます。さらに、持続可能な社会の実現を目指し、区としてもSDGsの理念を踏まえて事業を進めます。

《主な事業》自治会町内会振興事業、区の魅力創出・発信事業、区民スポーツ振興事業  
商店街にぎわいづくり事業

## 2 とともに支えあい、健康でいきいきと暮らせるまち

30,229千円

未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむため、多様化する子育てニーズに対応する育児支援や、地域での子育て支援に引き続き取り組みます。また、高齢化が進む中、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、健康づくりの取組を実施し、人と人とのつながりをはぐくみながら、互いに支えあえる地域づくりを目指します。

さらに、「第4期磯子区地域福祉保健計画」を策定するほか、在住外国人の支援を充実させ、多文化共生をより一層推進します。

《主な事業》親子の笑顔サポート事業、高齢者みんなで支えるまちづくり事業、  
磯子区地域福祉保健計画策定・推進事業、多文化共生推進事業

## 3 安全・安心で住みやすいまち

22,084千円

全国各地で発生している震災・風水害の教訓や磯子区の特徴を踏まえ、災害時におけるバンダナを活用した安否確認手法の推進や土のうステーションの設置など、自助・共助の取組への支援を実施し総合的な災害対策を継続して進めます。

また、近年増加している、近隣に影響を及ぼしている管理不全空き家への対策の充実を図るとともに、地域・学校・警察等と連携しながら、防犯や自転車の交通安全啓発などの取組を推進し、地域の皆様の安全・安心な暮らしの実現を目指します。

《主な事業》災害時安否確認支援事業、地域と一緒につくる防災・減災事業、地域防災土のう置場設置事業、  
管理不全空き家等の対策事業、交通安全啓発事業



予算編成の考え方

**「地域の皆様と共に考える、挑戦する、つくる！」**  
**～訪れたい、住みたい、住み続けたいまち 金沢を目指して～**

金沢区の抱える課題（「人口減少」、「高齢化」、「地域活性化」、「防災」）への対応や、区民や地域のニーズに応え、未来の金沢区を見据えた事業に取り組んでいきます。

予算の体系

**【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】** **合計： 98,951千円**

**1 金沢の未来を創る！～住みたい、住み続けたいまちの実現～**

**4,998千円**

地域、企業、大学などと連携協力し、少子高齢化や街の美観保持をはじめとした環境に関する地域課題などの解決に向けて取り組むとともに、地域活性化策を推進します。

《主な事業》クリーンタウン推進事業

**2 金沢の魅力をもっと発信！～歴史、自然、観光、大学、産業のまち金沢～**

**34,261千円**

地域や大学、地元産業等と協働して積み重ねてきた事業を更に発展・拡充させながら、金沢区の歴史資産や観光資源などの魅力を発信する事業を推進します。

《主な事業》金沢区観光振興事業、LINKAI横浜金沢推進事業

**3 すくすく育て！かなざわっこ～子どもが健やかに育つまちづくり～**

**18,532千円**

身近な場での子育て支援を充実させるとともに、地域、関係機関とのつながりをより強め、子どもの健やかな成長を見守りはぐくむまちづくりを一層進めます。

《主な事業》地域子育てネットワーク事業

**4 誰もが健康で生きがいを感じられる地域の実現！**

**19,837千円**

金沢の歴史と自然環境を生かした健康づくりや、誰もがいきいきと健康で生きがいを実感できる地域を実現します。また、地域や関連団体と連携を深めながら、地域包括ケアの推進に取り組んでいきます。

《主な事業》健康ウォーキング普及事業、金沢区地域福祉保健推進事業

**5 防災力・災害対応力、アップ！**

**16,056千円**

自助・共助を推進するため、防災研修や訓練等により地域防災拠点や町の防災組織の体制強化を図ります。また、災害リスクや対策等の周知活動に努めるとともに、発災時には区災害対策本部を迅速かつ円滑に運営します。

《主な事業》金沢防災“えん”づくり事業～顔の見える防災の輪～

**6 区民の皆様への「まごころ」あふれる区役所づくり**

**5,267千円**

継続して取り組んでいる「金沢まごころ運動」を軸に、皆様に寄り添う共感と信頼の区役所となるよう区役所サービスの充実を図ります。

《主な事業》「区民サービス」推進事業、区の花・ぼたんPR事業

予算編成の考え方

～活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」～

港北区の地域特性などを踏まえ、

- ①地域防災拠点での避難生活の質の向上を図る取組、情報発信力の強化、風水害時における避難行動の支援など安全・安心なまちづくりの推進
- ②東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けたより一層の機運醸成、活気あふれるまちづくりの推進
- ③子育て支援の充実、高齢者や障害者への支援など、幅広い福祉のまちづくりの推進などに重点を置いて、区民満足度の向上を目指した予算を編成しました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：118,887千円

1 安心して暮らせるまちづくり

32,855千円

地域防災拠点での避難生活の質の向上、情報発信力の強化及び風水害時における避難行動の支援に取り組みます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック開催期間中の、区における危機管理体制の強化を図ります。さらに、子どもや高齢者を対象とした交通安全対策を実施していきます。

《主な事業》災害に強いまちづくり推進事業、交通安全 無事故でカエル事業

2 活気にあふれるまちづくり

51,457千円

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催にあたって、より一層の機運を醸成していきます。また、ふるさと港北ふれあいまつりなどの各種イベントを通して、港北の歴史・文化・まちの魅力を区内外に発信するとともに、区民のふるさと意識をはぐくみ、活気にあふれるまちづくりを進めます。

《主な事業》大規模スポーツ大会開催機運醸成事業、育もう「ふるさと港北」事業

3 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

21,705千円

第4期地域福祉保健計画（ひっとプラン港北）を策定します。また、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちを目指し、子育て支援の充実をはじめ、地域包括ケアシステムの構築や認知症施策の推進、障害理解の啓発など高齢者や障害児・者への支援に取り組むとともに、地域の支え合い活動を支援します。

《主な事業》「ひっとプラン港北」推進事業、地域子育てサポート事業、高齢者・障害者支え合い推進事業

4 区民サービス向上に向けた取組

12,870千円

繁忙期における窓口案内サービスの向上、区庁舎・区民利用施設的环境改善など、区民サービス向上に向けた取組を進めます。

《主な事業》戸籍課案内サービス向上事業、区民サービス向上・環境改善促進事業

予算編成の考え方

～ 新たな時代へスタート！ ～

緑区は令和元年10月に区制50周年を迎え、新たな時代へのスタートを切りました。

豊かな自然に恵まれた魅力あふれるこのまちを、子どもたちや地域の新たな担い手など「次世代」に引き継いでいけるよう、区民の皆さまの声に応え、区民の皆さまと共に職員が一丸となって、地域の課題解決に向けた様々な施策に積極的に取り組んでいきます。

令和2年度は、3つの柱に基づいて、区民の皆さまが快適で住み続けたいと思える「みんなにやさしいまち」を目指します。

また、区制50周年で改めて感じていただいた緑区の魅力をさらに高めていくための取組も進めます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：97,919千円

1 安全・安心なまち

13,972千円

自助・共助による防災・減災、防火・防犯等、地域の特性に応じた区民の皆さまの主体的な活動を支援するとともに、災害対策本部機能の充実、食の安全、感染症予防等危機管理の取組を着実に推進し、安全・安心なまちづくりを進めます。

《主な事業》 災害に強いまちづくり事業、安全安心まちづくり事業

2 いきいき暮らせるまち

25,637千円

子どもや子育て中の方、高齢者や障害者及びその介護者、外国人など、誰もが安心していきいきと暮らし続けられる、共に支えあうつながりのあるまちづくりを進めます。

また、健康寿命を延ばすための自発的な活動を支援します。

《主な事業》 健康たうん・みどり推進事業、共に支えあう福祉保健の地域づくり事業、青少年地域サポート事業

3 みどりの魅力あふれるまち

58,310千円

区制50周年を機に再認識した、みどりあふれ自然の恵み豊かな環境と、さらに活発となった地域活動を、区民の皆様と共に守り育て、魅力あふれるこのまちを次世代につなぐ取組を進めます。

また、歴史的資源、活力ある都市農業や商業、文化・芸術・スポーツ活動等の緑区の様々な魅力を内外に発信していきます。

《主な事業》 生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業、みどり！まるごと応援事業、

子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori、緑・芸術文化事業、緑区商店街振興事業

予算編成の考え方

～「住みつづきたい・住みたいまち」青葉の実現を目指して～

青葉区は、美しい街並みや豊かな自然とともに、地域活動をはじめ様々な活動が活発に行われ、男性の平均寿命が全国1位であるなど、長寿としても知られる魅力にあふれたまちです。直近の区民意識調査でも、青葉区への愛着は高まり、8割以上の区民の皆様が愛着や誇りを感じています。

一方、少子高齢化や人口減少など大きな社会変動にも直面している中で、青葉区の魅力や活力を次の世代に確実に引き継ぎ、将来にわたって「住みつづきたい・住みたいまち」であり続けるために、5つの柱に沿った取組を進め、「つながり」をはぐくみ「健やかさ」「安心感」「魅力」を高めて「多世代が住みやすい」まちづくりを推進します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：105,412千円

1 誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち 29,948千円

あおばこどもシステム及び地域包括ケアシステムの推進、健康増進や健康長寿に関する取組等を通じて、誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》青葉区健康長寿のまちづくり支援事業、子育て支援事業～あおばこどもシステムの推進～ほか

2 安全で安心して暮らせるまち 29,817千円

防災や防犯等に関する取組を通じて、様々なリスクに備え、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》青葉区防災の街づくり事業、区民サービス向上事業ほか

3 さまざまな人や活動がつながる、活力のあるまち 15,950千円

様々な分野で多彩な人材・団体・活動がつながり、地域の連携やネットワークが広がる、活力あるまちづくりを進めます。

《主な事業》地域における起業等支援事業、地域福祉保健推進事業ほか

4 魅力を高め、発信するまち 20,486千円

文化・芸術、食など、青葉区の様々な特色をまちの魅力として定着・向上させ、区の内外に発信します。

《主な事業》広報・広聴事業、芸術文化振興事業ほか

5 自然と調和した、多世代が住みやすいまち 9,211千円

青葉区の特徴である自然環境と街並みの調和や、花・緑の豊かさを生かしながら、少子高齢化や人口減少など社会変動を踏まえた、持続可能なまちづくりを進めます。

《主な事業》街づくり推進事業、青葉環境エコ事業、あおば地産地消の推進ほか

## 予算編成の考え方

## ～「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまち、ふるさと都筑～

都筑区では、「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまちの実現を目指し、5つの柱に基づき編成しました。区民の皆様「ずっと住み続けたい」と感じていただけるよう、地域・団体・企業の皆様と共にふるさとづくりに取り組んでまいります。

## 予算の体系

## 【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：101,026千円

## 1 つながりと協働を育むまち

33,203千円

人と人とのつながりが実感でき、互いに支え合える地域づくりを多様な主体と協働して進めていくため、団体間の連携促進、人材の確保など、地域支援の取組の充実を図ります。第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を策定するほか、共感と信頼の区役所づくりを進め、つながりづくりを支えます。

《主な事業》まちづくり総合調整事業、都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業  
地域支援の種(たね)事業

## 2 いきいきと健やかに暮らせるまち

17,323千円

子育て世帯に選ばれるまちとして、更なる子ども・子育てへの支援を図ります。

また、今後早いスピードで進む高齢化を見据え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、「都筑区健康アクション!」に基づき、各世代に応じた健康づくりを進めます。

《主な事業》妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業、つづき健康づくりサポート事業

## 3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

16,429千円

都筑区ならではの都筑野菜、優れた技術を持つ中小製造業、文化、スポーツや商業団体などの地域資源を積極的に活用した取組を進めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、更なるにぎわいづくりに取り組みます。

《主な事業》メイドインつづき推進事業、未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業

## 4 安全・安心なまち

24,725千円

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、自助・共助による防災の取組や地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを行います。また、地域や関係機関・団体と連携して震災や風水害に対する更なる取組を進めます。

《主な事業》災害にそなえる自助・共助の推進事業

## 5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

9,346千円

「ガーデンシティ横浜」の推進を踏まえ、都筑区においても、花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などの安全対策に取り組むとともに、魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。また、環境にやさしいまちを目指し、地球温暖化対策を進めます。

《主な事業》ハマロード・サポーター、公園・緑道愛護会等活動推進事業

予算編成の考え方

～こころ豊かに 元気なまち 「とつか」を目指して～

戸塚区は、自然や歴史の魅力に加え、文化・スポーツが盛んで、賑わいのあるまちです。「こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか」を基本目標に、暮らし・学び・働き・訪れる、とつかに関わるすべての人が、人とのつながりを大切にして、一層元気で笑顔あふれる、安全・安心なまちを目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：104,392千円

1 人と人がつながるまちづくり

18,801千円

地域や企業との連携による青少年育成、スポーツ活動、地域活動の支援など、人と人とのつながりを深め、とつかへの愛着を深めるまちづくりを進めます。

《主な事業》区民活動支援事業、とつか地域づくり支援事業、スポーツ・レクリエーション振興事業

2 安全・安心を実感できるまちづくり

22,942千円

地域や防災関係機関と連携した訓練、マンション防災出前講座、防災・減災に関する啓発イベントや講演会などにより一人ひとりの防災・減災意識を高め、自助・共助の取組をより一層支援します。また、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害防止のための啓発活動、地域や関係団体と連携した犯罪のないまちづくりや交通安全・放置自転車対策などによる安全なまちづくりを進めます。

《主な事業》「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業、防犯力強化事業

3 誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり

38,833千円

令和3年度からの第4期とつかハートプランの策定を区の特長・地域課題を踏まえて区民・関係機関等と進めます。また、気軽にできる健康づくりへの取組やきめ細かな子育て支援、児童虐待の防止・早期発見、高齢者等への「見守り」などを地域や関係機関・企業等と連携して取り組みます。

《主な事業》とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）推進事業、子育て家庭のヘルスアップ事業  
戸塚区高齢者見守りネットワーク事業、戸塚駅バリアフリーサイン検討事業

4 活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり

17,614千円

旧東海道の歴史と魅力を伝える案内サインの更新や「音楽の街とつか」のPRなどによるとつかの魅力づくりに取り組みます。また、企業等のSDGsの取組を紹介するパネル展の開催などSDGsの視点を踏まえたエコの推進や、地域団体の活動による花と緑の豊かなまちづくりを進めます。

《主な事業》旧東海道魅力アップ推進事業、とつか環境未来エコライフ事業、とつか音楽の街づくり事業

5 区民に信頼され親しまれる区役所づくり

6,202千円

区民の皆様のニーズを的確にとらえ、SNS等も活用しながら行政情報を分かりやすく発信します。また、職員の人材育成に努め、サービスの向上に取り組みます。

《主な事業》区民に身近な広聴・効果的で分かりやすい広報事業、身近で親しみのある区役所づくり事業

## 予算編成の考え方

**地域で支え合う セーフコミュニティ さかえ**

～やさしく・楽しく・みんなで・タイムリーに～

SDGsを意識した取組を進めるとともに、再認証を取得したセーフコミュニティ活動を通じて安全・安心なまちづくりを進めます。

また、小さな働きかけで自発的な行動につなげる行動デザインの考え方を新たに取り入れることで、事業を効果的に進めるとともに、栄区の特長も踏まえ、区民に寄り添った行政サービスの持続的な提供に努めます。

## 予算の体系

**【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】****合計：103,646千円****1 まちづくりの推進****10,016千円**

少子高齢化の進展に対応するため、より細やかで利便性の高い交通手段の導入などに向けた検討を進めます。また、駅前開発などを着実に進め、まち全体が動き出す高揚感をアピールすることで、幅広い世代が住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

《主な事業》交通改善による温暖化対策実証事業、本郷台駅周辺のまちづくり推進

**2 魅力の向上・発信****29,915千円**

中高年のセカンドキャリア支援に向けた取組等により、地域人材の活躍を促し栄区の魅力を向上させます。また、多様な地域活動や文化活動による「つながり」を生かすことで、栄区のプレゼンスを高めます。

《主な事業》セカンドキャリア支援事業、栄区ならではのおもてなし推進事業

**3 防災力・減災力の強化****13,440千円**

近年の大規模な風水害を踏まえ、情報発信の体制を充実させ、地域特性に応じた対策を強化します。また、大規模災害発生時に区民の皆様の適時・適切な避難を促すため、地域防災拠点の認知度を高める取組を進めるなど、自助・共助・公助の取組を確実に進めます。

《主な事業》水害対策事業、地域防災拠点支援事業

**4 セーフコミュニティ・地域福祉の推進****41,630千円**

セーフコミュニティの取組を一層強化するとともに、子育て支援や障害児・者との交流事業、高齢者の地域ケアなどを推進し、第4期栄区地域福祉保健計画策定につなげていくことで、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》第4期地域福祉保健計画策定、「健康長寿 さ・か・え」推進事業

**5 地域に寄り添う区役所の推進****8,645千円**

地域ニーズや社会情勢の変化に適切に対応するため、「現場主義」を徹底し、地域の声を伺うことにより、区民の皆様に寄り添った行政サービスの提供につなげます。

《主な事業》栄区人材育成研修事業、租税教育の充実事業

予算編成の考え方

**共感と信頼の泉区 区民とつくる元気の出る泉区 ～#住むなら泉区～**

都心へのアクセス向上など利便性が高まる中、「これからもずっと泉区に住み続けたい」「泉区に住みたい」と思っただけのよう、泉区への関心と愛着を高めるとともに泉区ならではの魅力を区外にも広く発信することで定住・転入を促します。また、泉区で安全に安心して暮らせるよう、地域の皆様と連携しながら、区民一人ひとりが力を発揮できる魅力的で持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。

予算の体系

**【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】**

**合計：95,609千円**

**1 魅力ある泉区づくり**

**18,518千円**

交通アクセス等利便性が向上し、泉区の魅力がより高まる好機に泉区内外の多くの方々に「住むなら泉区」と感じてもらうため、泉区の魅力を広く発信するとともに、泉区ならではの農業や伝統文化、深谷通信所跡地等の地域特性を生かしたまちづくりを進めます。

《主な事業》定住・転入促進事業、いずみ文化振興事業、深谷通信所跡地等活用事業

**2 地域活動の広がるまちづくり**

**22,705千円**

活発な地域活動が継続されるよう、自治会町内会や多文化共生・スポーツを含めた活動支援、担い手支援に取り組み、地域のつながりづくりを推進します。

また、地域協議会を運営し、地域の声を施策に生かします。

《主な事業》地域力支援事業、自治会町内会振興事業、多文化共生推進事業

**3 安全・安心なまちづくり**

**19,702千円**

区民が安全に安心して暮らせるよう、防災体制の整備・強化や地域防災の担い手支援等の防災・減災対策、防犯・交通安全対策、食とくらしの安全等の取組を推進します。

《主な事業》防災対策事業、防犯対策推進事業、交通安全対策推進事業

**4 健康と福祉のまちづくり**

**11,817千円**

いつまでも住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、地域包括ケアの推進や健康づくり、高齢者・障害者の支援に取り組みます。また、地域と連携し第4期地域福祉保健計画を策定します。

《主な事業》泉区地域福祉保健計画推進事業、泉区地域包括ケア推進事業、和泉川健康みちづくり事業

**5 子育てしやすいまちづくり**

**7,202千円**

地域の中で安心して子育てができるよう、出産前からのサポート、保育施設・地域団体等との協働・連携による子育て支援や相談体制の充実を進め、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援します。

《主な事業》いずみっこ子育て支援事業、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援充実事業

**6 信頼される身近な区役所づくり**

**15,665千円**

区庁舎の環境整備や区民ボランティアによる案内を通じて、区民が利用しやすく親しみやすい区役所づくりを進めます。また、区民の皆様に、様々な情報を的確に提供・発信します。

《主な事業》区役所環境向上事業、窓口案内ボランティア事業



予算編成の考え方

～幸せが実感できる瀬谷づくり～

瀬谷区運営方針の基本目標「幸せが実感できる瀬谷づくり」の実現のため、区の課題等を全庁で共有するとともに、終了事業や経費節減により捻出した財源を最大限に活用し、課題解決に向けて横断的に取り組みます。

「基本的業務の着実な遂行及び新たな取組も視野に入れた事業の発展・拡充・見直し」「将来の瀬谷の新たな魅力づくりを意識した施策の展開」「災害に強いまちづくり推進」「区役所が一体となった地域課題の解決」を基本姿勢とし、課の枠を越えた連携や地域との協働で様々な事業を進めていきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：94,492千円

1 子ども・青少年の育成

18,231千円

子どもが健やかに生まれ育つために必要な育児支援を行います。また、地域や学校等と連携し、青少年の元気で心豊かな成長を支援するとともに、小・中学生への学習支援を行います。

《主な事業》健やか瀬谷っ子事業、未来を拓け！瀬谷っ子事業

2 健康増進、福祉の充実

16,421千円

区民が健康づくりに取り組む風土の醸成のため、きっかけとなる場の提供や、継続して取り組める環境づくりを行います。また、地域や福祉保健活動団体等との連携により、地域の健康・福祉の充実を図ります。

《主な事業》健康せや推進事業、高齢者支援事業

3 安全・安心のまちづくり

17,420千円

防災訓練・研修等を通じた地域防災力の向上や、災害時医療体制整備や備蓄品等の充実、及び災害対策本部の機能強化を図ります。また、関係団体と連携し、防犯・交通安全意識の啓発・向上を推進します。

《主な事業》災害等対策事業、まちの安全支援事業

4 魅力の創出、区民協働の推進

38,491千円

瀬谷の地域資源を活用した様々な取組により、瀬谷の魅力を総合的・継続的に発信します。また、区民との協働や区民同士の交流促進、商工業振興を通じて、区民活動の活性化や地域力の向上を図ります。

《主な事業》瀬谷の魅力発信・名所づくり事業、商工業元気アップ事業

5 共感・信頼の区役所

3,929千円

信頼や期待に応えられる区役所を実現するため、職員の応対力研修の実施や案内ボランティアの活用等を通し、来庁者サービスの向上を図ります。また、広報・広聴の充実により、区民に身近な区役所を実現します。

《主な事業》窓口サービス向上事業、広報・広聴連携事業



## 市第2号議案 令和2年度横浜市一般会計補正予算(第1号) 市民局関係部分

1 くらし・経済対策による補正 <増額分> (予算議案書3頁、予算説明書9、13頁)

379,600,000千円

(1) 特別定額給付金給付事業 379,600,000千円 (3款1項6目 特別定額給付金給付費)

(歳入)

(単位:千円)

款 項 目	補正前の額	補 正 額	計	備 考
18 国庫支出金	335,416,392	407,564,002	742,980,394	
2 国庫補助金	46,349,321	407,287,806	453,637,127	
2 市民費 目 国庫補助金	4,945,315	379,600,000	384,545,315	給付事業費の10/10補助

(歳出)

(単位:千円)

款 項 目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源			
				特 定 財 源			一般財源
				国庫支出金	市 債	その他	
3 市民費	51,662,275	379,600,000	431,262,275	379,600,000	—	—	—
1 市民行政費	22,851,509	379,600,000	402,451,509	379,600,000	—	—	—
6 特別定額給付金 目 給 付 費	—	379,600,000	379,600,000	379,600,000	—	—	—

(補正内容)

(単位:千円)

事 業 名	事 業 内 容	補正額
特別定額給付金 給付事業	<p><b>1 事業概要</b> 「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」(令和2年4月20日閣議決定)の趣旨を踏まえ、国の補正予算を活用し、すべての市民に特別定額給付金を支給します。</p> <p><b>2 給付対象者及び給付額</b> (1) 給付対象者 令和2年4月27日時点で、本市において住民基本台帳に記録されている方(約376万6千人(推計)) (2) 給付額 1人あたり10万円</p> <p><b>3 スケジュール</b> (1) オンライン申請 ・申請受付開始日: 5月12日(火) ※午前0時から申請可能 ・初回振込時期: 5月下旬(見込み) (2) 郵送申請 ・申請書発送開始時期: 5月下旬を目指して準備を進めています。 ・初回振込時期: 6月上旬を目指して準備を進めています。</p>	379,600,000